

高校通学区拡大反対！連絡会ニュース

連絡先 兵庫県高等学校教職員組合 Tel:078-341-6745

No.2

2010.8.3

高校通学区の拡大を許すな！！

生徒・保護者・地域 教職員の共同で **地域の学校をつくらう！！**

但馬 署名、宣伝スタート！！

今でも広い北但学区と南但学区が統合されると、地元の高校に進学できないで片道1時間半以上の通学を余儀なくされる生徒が多数生まれます。公共交通機関の発達していない但馬では、地元の学校に通えるように「連携校方式*」（入学選抜制度）を採用してきました。学区の拡大と同時に「複数志願・特色選抜」が導入されると、特定の進学校に志望が片寄り、学校間格差が拡大し地元の学校に入れない生徒が多数生まれることが懸念されています。

*連携校方式：募集定員のうち一定の割合（現行5%）を除き、原則地元の中学校（連携校）からの受検生を対象に合否を決定する方式

「但馬の高校を守る会」を結成

こんな思いから、但馬地域ではいち早く「但馬の高校を守る会」を結成し、学区拡大反対運動をスタートさせました。地域の隅々にチラシと署名用紙を返信用封筒付きで届けています。新聞折り込みでも宣伝をしました。

北但・南但を1つにするな！！

議会が意見書提出

朝来市 養父市



朝来市と養父市の両議会は、6月議会において「北但・南但学区と連携校方式を維持することを求める意見書」を県に提出しました。両市議会とも2007年に引き続いての意見書の提出です。また、香美町、新温泉町でも2007年に提出しており、次の議会での採択が見込まれます。残る豊岡市議会の態度は不明ですが、「但馬3市2町の市長町長はみんな学区統合に反対だ」との発言もあり、全自治体での意見書提出にむけ運動を強めています。**

市・町議会議員 様

北但・南但学区と連携校方式の維持を

今年4月、県教育委員会の「兵庫県高等学校通学区域検討委員会」が、中間まとめを発表し、高校の学区の統合・拡大の方向が打ち出されました。現在、北但・南但の二つとなっている高校の学区が、一つの学区へ統合・拡大されることが心配されます。但馬一学区とされると、通学の困難な生徒の増加、高校間格差の拡大、高校の統廃合、という事態が心配されます。但馬地区は、京阪神など都市部と違い公共交通機関が不便で、現在でも、多数の生徒や保護者が、通学に大変な経済的、時間的負担に苦しんでいます。一学区になれば、その負担がますます重くなります。また、但馬一学区での自由選択となれば、受験成績による高校の序列化がますます進み、希望していない高校への入学を余儀なくされる生徒が増加します。また、地元の高校へ進学できない生徒も大幅に増えるでしょう。さらに、高校の統廃合がますます強行されることも心配されます。

○現行の北但・南但二学区制と連携校方式の維持を求めます。

お名前	ご住所

(この署名は、但馬の地元市町議会に提出します)

取り扱い団体 豊岡市日高町野々庄 900-1
但馬の高校を守る会 但馬高教組会館
Tel 0796-42-3117

学区が拡大されるとどうなるのか みんなに知らせよう！！

県教委の学区拡大の企み、その本質を県民はまだ知らされていません。それが何をもたらすのかを、広く県民に知らせる必要があります。きれいなチラシ(本当はカラーです)ができました。全部で10万枚印刷しました。地域の仲間と相談して、チラシを配布し、署名を広げましょう。街頭宣伝、学習会開催などの計画をたてましょう。そして、市町長、市町教育委員会、市町議会に懇談し、学区拡大反対の意見書を県にあげるよう要請しましょう。地元中学校のPTAや校長会にも懇談を申し入れ、一緒に運動をすすめましょう。



チラシができました



阪神 尼教組・尼市高 高教組 尼崎支部 とりくみスタート！！

阪神間の運動は、県下の民主運動を引っばってきた尼崎が先頭です。3教組が中心になって「尼崎の教育を良くする運動」をすすめてきました。保護者や地域住民と「教育懇談会」を築き上げた歴史もあります。1万枚を超えるチラシを武器に地域宣伝を繰り返して、市長や議会に如何に迫るか。いよいよとりくみがスタートします。

明石の子は明石で育てる

07年に意見書提出 明石市議会

「今、地域の教育力の回復や学校・地域・家庭の連携などが重要な課題になっており、明石市教育委員会は明石学区総合選抜制度検討委員会答申等で、繰り返し、明石の子は明石で育てるという考えを明らかにし、その努力をしている。」(07年の意見書より)

「明石の学区拡大反対の意見書を高く評価していただけてありがたい。明石としては、未来永劫という訳ではないが、明石学区堅持の立場である。」(08年高校教育課長談)

**お詫び：本ニュース7月21日付で、養父、朝来両市で請願採択とありましたが誤りでした。お詫びして訂正します。